

## 納本制度をご存じですか？

国内で発行された全ての出版物は、法律により、国立国会図書館に納入することが義務付けられています。

国立国会図書館法(昭和23年法律第5号)

## 国立国会図書館とは？

国会に属する日本で唯一の国立の図書館です。国内外の資料・情報を広く収集しており、蔵書数は国内最大です。

収集された資料は、温湿度が適切に管理された書庫に大切に保管され、図書館資料としてさまざまに利用されます。

国立国会図書館は、「納本制度」によって支えられています。



↓切り取って資料送付時の宛名ラベルとしてお使いください。

〒100-8924  
東京都千代田区永田町 1-10-1

国立国会図書館  
収集書誌部国内資料課 行

## 納本の宛先

国立国会図書館

収集書誌部 国内資料課

〒100-8924

東京都千代田区永田町 1-10-1

※ご持参の場合

建物西側の職員用通用口(西口)をご利用ください。

受付時間:平日 9:00~17:45

## お問い合わせ窓口

【民間出版物の納本全般について】

収集書誌部 国内資料課 収集第一係

電話:03-3581-2331(代表)  
(内線:24611)

メール: nocho@ndl.go.jp

FAX:03-3504-1569

【納入出版物代償金について】

収集書誌部 国内資料課 収集第三係

電話:03-3581-2331(代表)  
(内線:24630)

メール: nouhon@ndl.go.jp

FAX:03-3504-1569

※電話の受付時間:平日 9:00~17:45



令和7年11月発行

民間出版物の発行者の皆様へ

# 納本の のうほん お願い



# 納本制度の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いいたします。

## 対象となる出版物は？

頒布を目的として、相当部数（通常100部以上）を刊行した、国内発行の出版物です。

図書、雑誌、新聞だけでなく、CD、DVD、ブルーレイ、ゲームソフト、レコード、楽譜、地図なども対象となります。

## だれが？

**その出版物の発行に責任を有する出版者**に納入の義務があります。例えば、出版社、レコード会社、学術団体、自費出版の発行者です。

## 納入部数は？

納入義務があるのは**1部**です。

## 納入された出版物は…

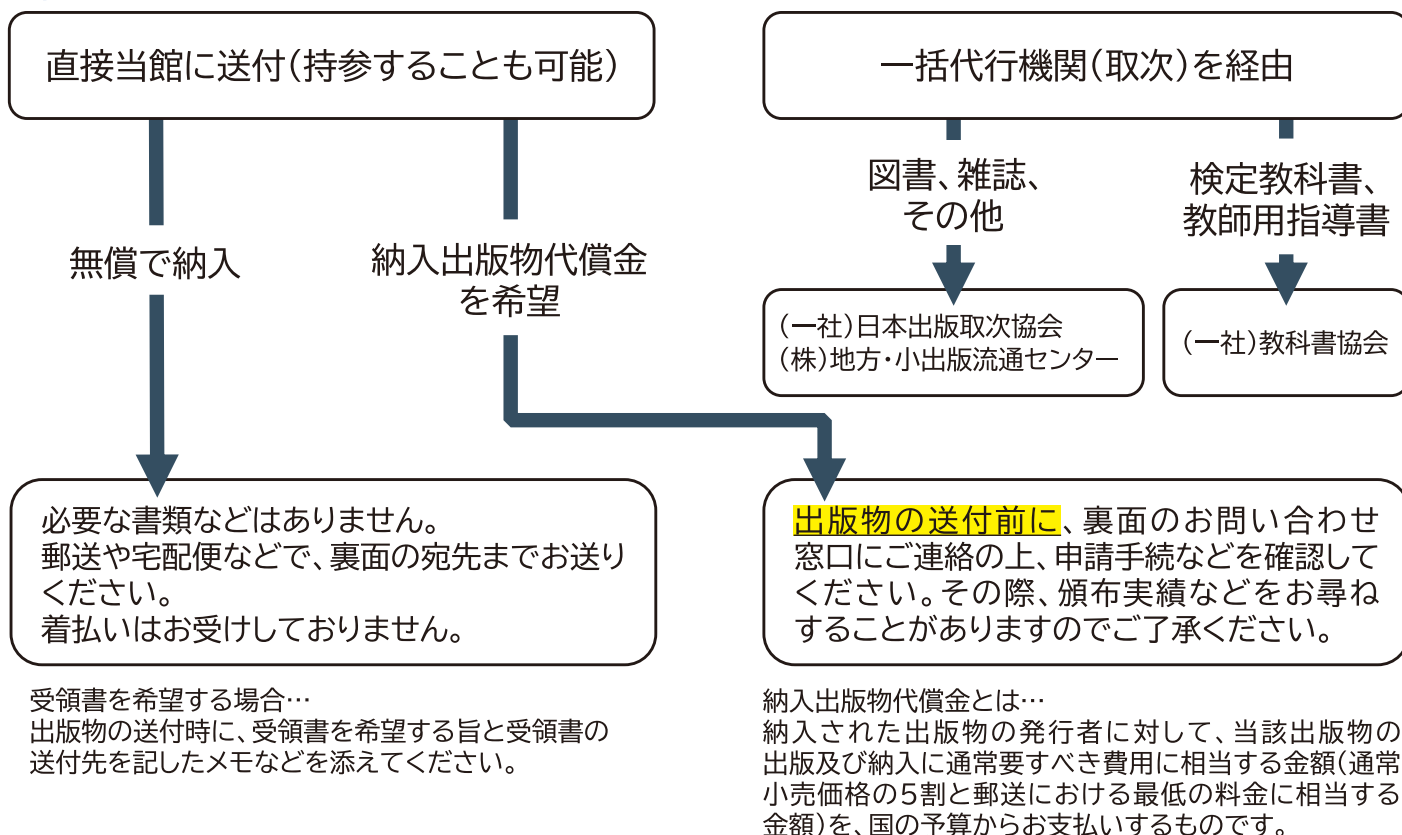


出版物の書誌（タイトル、出版者、著者などの情報）が作成され、国立国会図書館サーチで検索できるようになります。

国立国会図書館サーチ <https://ndlsearch.ndl.go.jp/>

## 納入方法は？

直接当館に送付する方法と、一括代行機関を経由する方法があります。



文化的資産として永く保存され、日本国民の知的活動の記録として後世に継承されます。



納本制度の詳細については、当館Webサイトの「納本のお願い」ページをご覧ください。

国立国会図書館 納本のお願い

検索

電子書籍、電子雑誌も収集しています。当館Webサイトの「オンライン資料収集制度(eデポ)」ページをご覧ください。

国立国会図書館 eデポ

検索